7月
July

使っている花 ■ ヒマワリ（レモンオーラ、レモンエクレア）、アンスリウム（バニラ）、ピンクジンジャー、アレカヤシ

ヒマワリ

WEEKEND FLOWER

花言葉	あなただけを見つめる／崇拝

太陽の光がまぶしいビーチサイド 夏のシンボル・サンフラワーを楽しんで

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 花首がしっかりしたものを選びましょう。花首が柔らかいものは、そのまま下を向いて咲いてしまいますのでご注意を。
■ 葉が多いと水が下がりやすくなるので、できるだけハサミで取り除きましょう。
■ 切り花栄養剤を使用するといっそう長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

①花を長くいけても倒れないしっかりした器を用意し水を入れ、切り花栄養剤も加えます。アメリカンな雰囲気にしたくて鮮やかなカラーのエコバッグに器をセット。ヒマワリの下葉はあらかじめ取り除きます。手で取ろうとすると茎の繊維も引っ張ってしまい茎が傷むので、ハサミでカットすると良いでしょう。
②ヒマワリを5〜7本高低差をつけながらいけます。ヒマワリの合間にジンジャーとアンスリウムをランダムにあしらいます。ジンジャーの葉も背景に活かしましょう。
③アレカヤシの葉を涼しげに飛ばすようにいけましょう。エコバッグからフレッシュな花々が無造作にあふれているような感じに仕上げましょう。

夏本番、部屋に太陽を飾ろう

不動の人気を誇る夏のシンボルフラワー。北米原産のキク科の植物、古代インカ帝国では太陽の象徴でした。爽やかなレモンイエローから元気なオレンジ、シックな赤茶系と色幅があり、芯の色によっても雰囲気が変わるので、初夏から晩夏まで季節毎に品種を使い分けても。近年は上を向いて咲くアップライトのヒマワリの開発が進んでいます。

ヒマワリ

WEEKEND FLOWER

花言葉	あなただけを見つめる／崇拝

太陽の光がまぶしいビーチサイド 夏のシンボル・サンフラワーを楽しんで

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 花首がしっかりしたものを選びましょう。花首が柔らかいものは、そのまま下を向いて咲いてしまいますのでご注意を。
■ 葉が多いと水が下がりやすくなるので、できるだけハサミで取り除きましょう。
■ 切り花栄養剤を使用するといっそう長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

①花を長くいけても倒れないしっかりした器を用意し水を入れ、切り花栄養剤も加えます。アメリカンな雰囲気にしたくて鮮やかなカラーのエコバッグに器をセット。ヒマワリの下葉はあらかじめ取り除きます。手で取ろうとすると茎の繊維も引っ張ってしまい茎が傷むので、ハサミでカットすると良いでしょう。
②ヒマワリを5〜7本高低差をつけながらいけます。ヒマワリの合間にジンジャーとアンスリウムをランダムにあしらいます。ジンジャーの葉も背景に活かしましょう。
③アレカヤシの葉を涼しげに飛ばすようにいけましょう。エコバッグからフレッシュな花々が無造作にあふれているような感じに仕上げましょう。

夏本番、部屋に太陽を飾ろう

不動の人気を誇る夏のシンボルフラワー。北米原産のキク科の植物、古代インカ帝国では太陽の象徴でした。爽やかなレモンイエローから元気なオレンジ、シックな赤茶系と色幅があり、芯の色によっても雰囲気が変わるので、初夏から晩夏まで季節毎に品種を使い分けても。近年は上を向いて咲くアップライトのヒマワリの開発が進んでいます。

7月
July

使っている花 ■ ヒマワリ（レモンオーラ、レモンエクレア）、アンスリウム（バニラ）、ピンクジンジャー、アレカヤシ

7月
July

使っている花 ■ ヒマワリ（レモンオーラ、レモンエクレア）、アンスリウム（バニラ）、ピンクジンジャー、アレカヤシ

ヒマワリ

WEEKEND FLOWER

花言葉	あなただけを見つめる／崇拝

太陽の光がまぶしいビーチサイド 夏のシンボル・サンフラワーを楽しんで

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 花首がしっかりしたものを選びましょう。花首が柔らかいものは、そのまま下を向いて咲いてしまいますのでご注意を。
■ 葉が多いと水が下がりやすくなるので、できるだけハサミで取り除きましょう。
■ 切り花栄養剤を使用するといっそう長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

①花を長くいけても倒れないしっかりした器を用意し水を入れ、切り花栄養剤も加えます。アメリカンな雰囲気にしたくて鮮やかなカラーのエコバッグに器をセット。ヒマワリの下葉はあらかじめ取り除きます。手で取ろうとすると茎の繊維も引っ張ってしまい茎が傷むので、ハサミでカットすると良いでしょう。
②ヒマワリを5〜7本高低差をつけながらいけます。ヒマワリの合間にジンジャーとアンスリウムをランダムにあしらいます。ジンジャーの葉も背景に活かしましょう。
③アレカヤシの葉を涼しげに飛ばすようにいけましょう。エコバッグからフレッシュな花々が無造作にあふれているような感じに仕上げましょう。

夏本番、部屋に太陽を飾ろう

不動の人気を誇る夏のシンボルフラワー。北米原産のキク科の植物、古代インカ帝国では太陽の象徴でした。爽やかなレモンイエローから元気なオレンジ、シックな赤茶系と色幅があり、芯の色によっても雰囲気が変わるので、初夏から晩夏まで季節毎に品種を使い分けても。近年は上を向いて咲くアップライトのヒマワリの開発が進んでいます。

ヒマワリ

WEEKEND FLOWER

花言葉	あなただけを見つめる／崇拝

太陽の光がまぶしいビーチサイド 夏のシンボル・サンフラワーを楽しんで

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

■ 花首がしっかりしたものを選びましょう。花首が柔らかいものは、そのまま下を向いて咲いてしまいますのでご注意を。
■ 葉が多いと水が下がりやすくなるので、できるだけハサミで取り除きましょう。
■ 切り花栄養剤を使用するといっそう長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

①花を長くいけても倒れないしっかりした器を用意し水を入れ、切り花栄養剤も加えます。アメリカンな雰囲気にしたくて鮮やかなカラーのエコバッグに器をセット。ヒマワリの下葉はあらかじめ取り除きます。手で取ろうとすると茎の繊維も引っ張ってしまい茎が傷むので、ハサミでカットすると良いでしょう。
②ヒマワリを5〜7本高低差をつけながらいけます。ヒマワリの合間にジンジャーとアンスリウムをランダムにあしらいます。ジンジャーの葉も背景に活かしましょう。
③アレカヤシの葉を涼しげに飛ばすようにいけましょう。エコバッグからフレッシュな花々が無造作にあふれているような感じに仕上げましょう。

夏本番、部屋に太陽を飾ろう

不動の人気を誇る夏のシンボルフラワー。北米原産のキク科の植物、古代インカ帝国では太陽の象徴でした。爽やかなレモンイエローから元気なオレンジ、シックな赤茶系と色幅があり、芯の色によっても雰囲気が変わるので、初夏から晩夏まで季節毎に品種を使い分けても。近年は上を向いて咲くアップライトのヒマワリの開発が進んでいます。

7月
July

使っている花 ■ ヒマワリ（レモンオーラ、レモンエクレア）、アンスリウム（バニラ）、ピンクジンジャー、アレカヤシ